

受験番号	次世代学校教育創成 サブプログラム
------	----------------------

令和8年度
筑波大学大学院 教育学学位プログラム 博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題（10月実施）

共通科目

(10:00～11:30)

解答要領

次の事項に注意して解答しなさい。

1. 「解答はじめ」の合図があるまでは解答を始めてはいけません。
2. 「解答やめ」の合図があれば直ちに筆記用具を置いてください。合図の後も筆記用具を持っている場合には不正行為と見なします。
3. 共通科目の問題には「教育原理に関する問題」と「教育心理に関する問題」があります。問題用紙の枚数は「教育原理に関する問題」が4枚、「教育心理に関する問題」が3枚です。
4. 「教育原理に関する問題」と「教育心理に関する問題」の解答用紙はそれぞれ1枚です。「教育原理に関する問題」と「教育心理に関する問題」はそれぞれ2問ずつありますので、すべて解答してください。
5. 解答用紙のホチキスは、外して解答してください。

【 令和8年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

受験番号	領域名
------	-----

共通科目（ 「教育原理に関する問題」 ） 4枚のうち 1枚目

問題1 次の（ ）の中にあてはまる適切な用語を、次ページに示した選択肢の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 幼稚園の創始者ともいわれるフレーベルは、(①)を引き出す道具として(②)を発案した。他方でモンテッソーリは、子どもの発達における(③)期を発見し、それに適した環境や教具を整備する重要性を説いた。これに対してデューイも学校教育に(④)を取り入れたが、あくまでも目的を持った学習活動としてとらえていた。
- (2) 中世から近世にかけて全国的な儒学の拠点となった足利学校は、現代でいう(④)教育機関の性格を持ちながら独自の運営をしていたが、明治維新後に政府の管轄する(⑤)の一つとして再編された。他方で、1872年の「学制」発布以前から、京都では民衆の力によって(⑥)小学校の建設が進んでおり、学区制度の先駆けになった。
- (3) 2007年の学校教育法改正により、各学校には、教育活動その他の(⑦)の状況について(⑧)を行い、その結果に基づき(⑦)の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その(⑨)の向上に努めることが義務づけられた。
- (4) 教育公務員特例法の第二十一条では、「(⑩)は、その職責を遂行するために、絶えず(⑪)と(⑫)に努めなければならない。」と規定されている。
- (5) 地域学校協働活動は、国レベルでは2017年より(⑬)の中で新たに規定され、ゲストティーチャーによる授業から放課後子ども教室の実施まで、(⑭)内外での取り組みが各地で展開されている。教育委員会は地域学校協働活動(⑮)員を委嘱できるようになり、地域と学校を橋渡しするコーディネーターが図られている。

【 令和8年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

共通科目（ 「教育原理に関する問題」 ）

4枚のうち 2枚目

選択肢（使わない用語もある）

- | | | |
|--------------|----------|-----------|
| (ア) 遊び | (イ) 絵本 | (ウ) 恩物 |
| (エ) 学力調査結果 | (オ) 学校運営 | (カ) 義務 |
| (キ) 休養 | (ク) 教育課程 | (ケ) 教育公務員 |
| (コ) 教育振興基本計画 | (サ) 教育水準 | (シ) 教材研究 |
| (ス) 研究 | (セ) 健康 | (ソ) 高等 |
| (タ) 支援 | (チ) 指導主事 | (ツ) 社会教育法 |
| (テ) 修養 | (ト) 授業 | (ナ) 初任者 |
| (ニ) 新制 | (ヌ) 推進 | (ネ) 対話 |
| (ノ) 帝国大学 | (ハ) 番組 | (ヒ) 藩校 |
| (フ) 評価 | (ヘ) 敏感 | (ホ) 報告 |
| (マ) マネジメント | (ミ) 臨界 | (ム) 連携 |

【 令和8年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

共通科目（ 「教育原理に関する問題」 ） 4枚のうち 3枚目

問題2 A群の説明にもっとも関係の深い用語を、次ページに示したB群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A群】

- (1) 日本の高等学校は入学試験を通じて学力による階層構造を形成している。生徒は学力を基準として各高等学校に振り分けられ、特定の教育プログラムのもとで生活・学習する。それによって、各学校の生徒たちは、過去のその学校の卒業生と類似した進路に辿り着く。
- (2) 学校のカリキュラムでは、男子と女子が別々に授業を受ける形態が採用されているケースがある。幼稚園・小学校の教員は女性が多いが、中学校・高等学校の教員は男性が多い。こうした学校教育の特徴は、「隠れたカリキュラム」として児童生徒に固定的な観念や偏見などを内面化することになる。
- (3) 教育行政の民主化、地方分権化、一般行政からの独立という3つの原則に基づいて、戦後教育改革のときに構築された。1956年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」制定により、中央集権的な方向へ改編された。
- (4) 1971年に「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」（給特法）が制定され、公立学校の教員には超過勤務手当を支払わない代わりに月額給与の4%が上乘せされて支給された。しかし、2025年にこの法律は改正されて、その比率は2026年以降段階的に10%まで引き上げられることになった。
- (5) 生徒の学習成果に焦点を当てながら、教師が協働して自身の実践を改善し、専門性を向上させていく。アメリカ合衆国を中心に、学校単位あるいは学校を超えた教師同士のネットワークが形成されている。
- (6) 探究的な学習を進めるうえで教師は、生徒に知識を一方向的に伝えるのではなく、生徒自身の関心や問いを引き出していく役割を担う。
- (7) 教育と労働の領域間に還流を生み出し、大学などで自己成長やステップアップを図るという考え方がOECDによって提唱された。
- (8) 人格の内面に重きを置くのではなく、正義、正直、親切などの社会で求められる考え方に基づいて計画的に教え込む。
- (9) 社会の変化をとらえながら文部科学省が作成している手引書で、2022年の改訂では新たに性的マイノリティの児童生徒への配慮について求めた。
- (10) 国際教育開発の場面では、市民社会組織（CSO）の活動がみられる。これらの活動は、社会的に弱い立場にある人々の声を代弁し、政策提言や社会変革を生み出す力を持っている。

【 令和8年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

共通科目（ 「教育原理に関する問題」 ）

4枚のうち 4枚目

【B群】（使わない用語もある）

- (ア) Advocacy
- (イ) Empowerment
- (ウ) Pedagogical Content Knowledge
- (エ) Professional Learning Community
- (オ) 学習指導要領
- (カ) 教育委員会制度
- (キ) 教職調整額
- (ク) 勤勉手当
- (ケ) 経験主義
- (コ) コーディネーター
- (サ) ジェンダー・バイアス
- (シ) ジェンダー・フリー
- (ス) 職業的社会化
- (セ) 生徒指導提要
- (ソ) 中央教育審議会
- (タ) 徳目主義
- (チ) トラッキング
- (ツ) ファシリテーター
- (テ) リカレント教育
- (ト) リスキリング教育

【 令和8年度筑波大学大学院教育学学位プログラム博士前期課程
次世代学校教育創成サブプログラム入学試験問題 】

学校教育領域

共通科目（ 「教育心理に関する問題」 ） 3枚のうち 1枚目

問題1 A群の説明にもっとも関係の深い用語を、次ページに示したB群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A群】

- (1) 社会的に望ましい回答をしようとする反応歪曲を検出するために用いられる。
- (2) 記銘学習の直後に成績が急速に低下するものの、一定時間を過ぎると成績の低下は緩やかになっていく。
- (3) 認知的社会的学習理論の枠組みで説明される。
- (4) 不安障害に対して高い治療効果を有することが知られている。
- (5) シェマ、同化と調節、などと同様に、発生的認識論における重要概念のひとつである。
- (6) メトロノームの作動音によって誘発される唾液分泌反応などが例として挙げられる。
- (7) 複数の集団の境界にいて、どの集団にも属していない状態をさす。
- (8) 時間の経過により説得の送り手についての記憶が薄れることに関連して生じる。
- (9) アタッチメント対象が持つ機能の一つである。
- (10) 「今ここ」での感情を率直に自己開示しながら、自他理解や自他受容の経験を重ねていく。

【B群】（使わない用語もある）

- (ア) U字型成長 (U-shaped growth)
- (イ) 自動思考 (automatic thought)
- (ウ) エンカウンターグループ (encounter group)
- (エ) 虚偽尺度 (lie scale)
- (オ) レスポンデント条件づけ (respondent conditioning)
- (カ) 観察学習 (observational learning)
- (キ) エクスポージャー法 (exposure)
- (ク) マージナルマン (marginal man)
- (ケ) 部分強化効果 (partial reinforcement effect)
- (コ) 均衡化 (equilibration)
- (サ) 誤信念課題 (false belief task)
- (シ) 忘却曲線 (forgetting curve)
- (ス) ブーメラン効果 (boomerang effect)
- (セ) スリーパー効果 (sleeper effect)
- (ソ) 自己調整学習 (self-regulated learning)
- (タ) 安全基地 (secure base)

問題2 A群の人名にもっとも関係の深い用語をB群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A群】

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| (1) ローゼンソール (Rosenthal, R.) | (2) ローゼンツァイク (Rosenzweig, S.) |
| (3) ギルフォード (Guilford, J. P.) | (4) トマセロ (Tomasello, M.) |
| (5) 内田勇三郎 (Uchida, Y.) | (6) デシ (Deci, E. L.) |
| (7) ウェルトハイマー (Wertheimer, M.) | (8) ゲゼル (Gesell, A. L.) |
| (9) ミルグラム (Milgram, S.) | (10) ミラー (Miller, G. A.) |

【B群】（使わない用語もある）

- | | |
|--|---|
| (ア) P-F スタディ
(Picture-Frustration Study) | (イ) ピグマリオン効果
(Pygmalion effect) |
| (ウ) レディネス
(readiness) | (エ) モーズレイ人格目録
(Maudsley personality inventory) |
| (オ) ゲシュタルト心理学
(Gestalt psychology) | (カ) 服従
(obedience) |
| (キ) 9カ月革命
(nine-month-revolution) | (ク) 記憶範囲
(memory span) |
| (ケ) 自己決定理論
(self-determination theory) | (コ) 認知行動療法
(cognitive behavioral therapy) |
| (サ) 作業検査法
(performance test) | (シ) 5因子理論
(five factor theory) |
| (ス) 人みしり
(fear of strangers) | (セ) リーダーシップ
(leadership) |
| (ソ) 知性の構造モデル
(structure of intellect model) | |

令和8年度入学試験（10月実施） 共通科目 解答例（採点基準）・出題意図

共通科目（教育原理に関する問題）

問題1 次の（ ）の中にあてはまる適切な用語を、次ページに示した選択肢の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【解答例（採点基準）】

（省略）

【出題意図】

教育原理の基礎的知識を問うため、教育学全般における歴史、思想、理論、制度のうち、基本的な事項について理解しているかを問う。教育学に関する討議や研究を進めるうえで必要となる基本的な概念を習得しているかを確認する。

問題2 A群の説明にもっとも関係の深い用語を、次ページに示したB群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【解答例（採点基準）】

（省略）

【出題意図】

教育原理の基礎的知識を問うため、教育史および教育制度に関する重要な事実と概念を関連づけて理解しているかを確認する。また、公教育制度に関わる最近の動向についての理解を確認する。

共通科目（教育心理に関する問題）

問題1 A 群の説明にもっとも関係の深い用語を、次ページに示した B 群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A 群】(1)－(10)

【B 群】(ア)－(タ)

【解答例（採点基準）】

（省略）

【出題意図】

教育心理の基礎的知識を問うため、教育に関連する心理学について、基本的な事項が理解されているかを問う。教育について研究する上で必要となる心理学の基本的な知識を習得しているかを、心理学の基礎概念の内容理解という点から確認する。

問題2 A 群の人名にもっとも関係の深い用語を B 群の中から一つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

【A 群】(1)－(10)

【B 群】(ア)－(ソ)

【解答例（採点基準）】

（省略）

【出題意図】

教育心理の基礎的知識を問うため、教育に関連する心理学について、基本的な事項が理解されているかを問う。教育について研究する上で必要となる心理学の基本的な知識を習得しているかを、心理学の主要な研究者の研究内容という点から確認する。